

VI 課題研究助成新規申請書記入例

2019 年度 課題研究助成新規申請書（記入例）

課題研究助成 新規申請書 - 1

種 類	共同研究 ・ 各個研究						
申請時期	第 I 期 ・ 第 II 期						
研究代表者氏名	常磐 太郎						㊟
研究代表者所属・職名	人間科学部・教授						
研究課題名	*****						
研究期間	2019	年度	～	2020	年度	2	年間
研究経費 (千円)	年度	研究経費 合計	内訳				
			研修出張費	資料費	備品費	消耗品費	雑費
	2019 年度 (1 年次)	388	35	100	170	50	33
	2020 年度 (2 年次)	620	200	50	100	50	220
	2021 年度 (3 年次)	0	0	0	0	0	0
総計	1,008	235	150	270	100	253	
研究組織	氏名	所属・職名	現在の専門・研究役割分担				エフォート (%)
	常磐 太郎	人間科学部 教授	教育学 研究総括および調査実施				20
	常磐 花子	人間科学部 准教授	社会学 調査設計および調査実施				10
	常磐 次郎	短期大学 助教	情報学 調査結果分析				10
* 研究分担者は、本学の専任教員、準専任教員、客員教授、教員以外の専任職員、博士課程（後期）に所属する大学院生および学外の研究者で、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、研究計画の遂行責任を分担して研究活動を行う者をいいます。							

研究目的

※本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、申請者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

研究目的（概要） ※当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

- * 上記の指示に従い、明朝体（11ポイント程度）の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。
- * ページの追加等はしないでください。

↑ 破線の位置を変えないでください（下に広げないこと）。 ↑

研究目的（つづき）

研究計画・方法

※本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、**2019年度**の計画と**2020年度以降**の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに進める研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、研究協力者等の役割についても必要に応じて記述してください。

研究計画・方法（概要） ※研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

- * 上記の指示に従い、**明朝体（11ポイント程度）**の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。
- * ページの追加等はしないでください。

↑ 破線の位置を変えないでください（下に広げないこと）。 ↑

研究計画・方法（つづき）

今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を学内・社会・国民等に発信する方法

※本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を学内（紀要を除く）・社会・国民等に発信する方法等
（例：学内向け成果発表会の開催、ホームページの作成、マスメディアへの発表予定等）

* 上記の指示に従い、**明朝体（11ポイント程度）**の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。

研究の教育上の意義

※本欄には、研究課題の成果が本学における教育の充実のために、どのような意義をもつのかを、具体的かつ明確に記述してください。

* 上記の指示に従い、**明朝体（11ポイント程度）**の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。

研究業績		
<p>※本欄には、研究代表者及び研究分担者が最近5カ年間に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。</p>		
発表年	研究代表者・分担者氏名	発表論文名・著書名 等
		<p>※例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。</p> <p>（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線を付してください。）</p>
2018年度以降	常磐 太郎 常磐 花子	<p>1. ○○○について、<u>常磐太郎</u>、常磐三郎、△△学会誌、Vol. 1、No. 2、pp20-30、2016、査読有</p> <p>2. □□□について、<u>常磐花子</u>、常磐良子、××学会誌、*****</p>
2017年度	常磐 次郎	3. *****
2016年度		
2015年度		
2014年度		

研究業績（つづき）

--	--	--

これまでに受けた研究費とその成果等

※本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（本学課題研究費等、科研費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、次の点に留意して記述してください。

- ① それぞれの研究費毎に、研究種目名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。
- ② 本学課題研究費等と科研費等外部研究費に区別して記述してください。

【本学課題研究費】

- * 上記の指示に従い、**明朝体（11ポイント程度）**の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。
- * 各研究費の線の位置は変更してもかまいません。
- * ページの追加等はしないでください。

課題研究費

○研究代表者・常磐太郎

研究種目名：課題研究助成（共同研究）
 期間（年度）：2012年度～2013年度
 研究課題名：*****
 研究分担者
 研究経費：500千円（2012年度－200千円、2013年度－300千円）
 研究成果：*****

○研究分担者・常磐花子

研究種目名：課題研究助成（各個研究）
 期間（年度）：2011年度～2013年度
 研究課題名：*****
 研究代表者
 研究経費：1,000千円（2011年度－500千円、2012年度－300千円、2013年度－200千円）
 研究成果：*****

【科研費等外部研究費】

科研費

○研究代表者・常磐太郎

研究種目名：若手研究（B）
 期間（年度）：2011年度～2012年度
 研究課題名：*****
 研究代表者
 研究経費（直接経費）：1,500千円（2011年度－600千円、2012年度－900千円）
 研究成果：*****

人権の保護及び法令等の遵守への対応

※本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、常磐大学・常磐短期大学研究倫理委員会における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

- * 上記の指示に従い、明朝体（11ポイント程度）の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。
- * 該当しない場合はその旨記述してください。（該当なし等）

研究経費の妥当性

※本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（研修出張費、資料費、備品費、消耗品費、雑費）が、各年度の研究費総額の50%を超える場合及び特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

- * 上記の指示に従い、明朝体（11ポイント程度）の文字等を使用して記述してください（ゴシック、アンダーライン等は適宜可）。

研修出張費の明細（千円） ※記入に当たっては、研究助成公募要領を参照してください。								
年度	目的・行先	出張者	泊・日	単価	人数	回数	金額	
2019	資料収集 東京（**大学）	常磐太郎	1泊2日	15	1	2	30	
	研究成果発表 つくば市（**学会）	常磐花子	0泊1日	5	1	1	5	
<p>* 研修出張費は、研究代表者または研究分担者がフィールドワーク調査、ヒアリング調査、文献調査、専門的知識の提供を受けるための研究会など、課題を遂行するために企画した出張、もしくは当該課題による研究成果を発表する学会出張を対象とします。</p> <p>※課題との関連が明確でない学会参加のための研修出張等、個人研究費で執行すべき研修出張費は認めません。</p> <p>* 研修出張費は、本学研修出張に関する規程等により算定してください。</p> <p>* 研究分担者のうち、本学博士課程（後期）に所属する大学院生および学外の研究者の研修出張費は、各年度20万円以内とします。</p>								
	計							35
2020	実地調査 中国（北京）	常磐次郎	9泊10日	200	1	1	200	
	計							200
2021								
	計							0
研修出張費 合計							235	

資料費の明細（千円）						※記入に当たっては、研究助成公募要領を参照してください。	
年度	小科目	摘要	設置場所	管理者	金額		
2019	図書	** 関係図書	M001	常磐太郎	50		
	消耗図書	** 関係図書	M001	常磐太郎	20		
	複写代	** 関係資料複写代	M003	常磐次郎	30		
	計					100	
2020	図書	** 関係図書	M001	常磐太郎	20		
	複写代	** 関係資料複写代	M002	常磐花子	30		
* 小科目は、「図書」「消耗図書」「複写代」に分けて記入してください。							
計					50		
2021							
	計					0	
資料費 合計					150		
備品費の明細（千円）						※記入に当たっては、研究助成公募要領を参照してください。	
年度	品名・仕様		設置場所	管理者	単価	数量	金額
2019	プロジェクター		M001	常磐太郎	150	1	150
	**社、A-BB0001（型番）						
	ICレコーダー		M001	常磐太郎	20	1	20
**社 SS-BB52（型番）							
計					170		
2020	デジタルカメラ		M003	常磐次郎	50	2	100
	**社、B-CC0002（型番）						
計					100		
2021							
* 備品費での、パソコンの購入やリースは原則として認めません。							
* 申請書提出の際に、見積書を添付してください。							
* 中古品は購入しないでください。							
計					0		
備品費 合計					270		

消耗品費の明細（千円） ※記入に当たっては、研究助成公募要領を参照してください。			
年度	品名		金額
2019	文房具（クリアファイル、タックメモ等）		30
	記録メディア（USBメモリ、SDカード等）		20
* 消耗品費での、基本ソフト（Windows、MacOS等）の購入は認めません。			
	計		50
2020	プリンタートナー		50
	計		50
2021			
	計		0
消耗品費 合計			100
雑費の明細（千円） ※記入に当たっては、研究助成公募要領を参照してください。			
年度	小科目	摘要	金額
2019	労務費	資料整理（学生アルバイト2名×15時間×830円）	25
	通信・運搬費	研究資料郵送料	8
	計		33
2020	謝金・謝礼	専門的知識の提供	50
	業務委託費	英語論文校閲料	50
	諸会費	**学会参加費	20
	印刷費	論文印刷費	100
	計		220
2021			
* 労務費は、各個研究においては各年度の研究費総額の25%以内、共同研究においては各年度の研究費総額の15%以内とします。労務費の1時間当たりの単価は830円（2018年4月1日現在）として算定してください。なお、茨城県最低賃金の改定等にもない、労務費の1時間当たりの単価が変更される場合がありますので、申請時の労務費単価を人事給与課に確認のうえ記入してください。			
	計		0
雑費合計			253

研究費の応募・受入等の状況・エフォート

※本欄は、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところで、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。

本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動、について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究助成公募要領を確認してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
- ③ 科研費等の外部資金等についても記入してください。

(1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	2019年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費 に加えて本応募研究課題に応募す る理由
【本応募研究課題】 課題研究助成 (2019～2020)	***** (常磐太郎)	代表	388 (1,008)	20	
科研費・基盤研究(C) (2019～2020)	***** (常磐花子)	分担	500 (1,500)	5	***という点で、本申請課題とは異なり、当該研究課題では、***を目的とする。

* 科研費等外部研究費の分担金および分担金総額について、正確な配分額が分からない場合は、おおよその金額を記入してください。

研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）

（2）受入予定の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・ 分担の 別)	2019年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフ オー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費 に加えて本応募研究課題に応募す る理由
科研費・基盤研究(C) (2017～2019)	***** (常磐太郎)	代表	1,000 (3,000)	10	***という点で、本申請課題 とは異なり、当該研究課題で は、***を目的とする。
科研費・基盤研究(B) (2017～2019)	***** (常磐次郎)	分担	30 (1,000)	5	***という点で、本申請課題 とは異なり、当該研究課題で は、***を目的とする。

* 科研費等外部研究費の分担金および分担金総額について、正確な配分額が分からない場合は、おおよその金額を記入してください。

--	--	--	--	--	--

（3）その他の活動

※上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動
や教育活動等のエフォートを記入してください。

60

合 計

※上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計

100
(%)

2019 年度課題研究助成 研究分担者承諾書

研究代表者所属・職名・氏名

所属・職名：人間科学部・教授

氏 名：常磐 太郎 殿

研究課題名

研究期間：2019 年度～2020 年度（2 年間）

標記研究課題について、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、研究計画の遂行責任を分担して研究活動を行う研究分担者となることを承諾します。

研究分担者所属・職名・氏名

所属・職名：人間科学部・准教授

氏 名：常磐 花子 印

